

ながさわたかひろ「新・プロ野球画報～ながさわたかひろの逆襲～」展のご案内

初冬の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。eitoeiko では2015年1月9日から1月31日まで、ながさわたかひろによる個展「新・プロ野球画報～ながさわたかひろの逆襲～」を開催いたします。

ながさわたかひろ（1972年山形県生まれ）による「プロ野球」シリーズは、2009年シーズンの東北楽天イーグルス全試合を銅版画で描いた「プロ野球画報」（2010年岡本太郎現代芸術賞特別賞受賞）より、技法をかえて継続し、本展では東京ヤクルトスワローズの2014年シーズン全144試合をペンと色鉛筆で描いています。東京ヤクルトスワローズに「移籍」し5年目のシーズンとなった本年は沖縄県浦添市の春季キャンプ見学から始まり、フジテレビ「アウト×デラックス」、テレビ東京「ネオスポーツ」、日本テレビ「ぎゃっぷ人」、読売新聞などに紹介され、また「笑福亭べ瓶のスワローズ色!!」にレギュラー出演、「月刊丸ごとスワローズ」にイラストが掲載されるなど、活動の幅を広げています。

ながさわたかひろの制作姿勢は「プロ野球選手の生活リズムをシミュレーションする」ところからはじまり、それが「プロ野球選手として背番号を背負う自身」の姿に向かって実践されるところにパフォーマンス・アートとしての展開をみせながら、同時に全試合を「ドローイングする」という「絵描き」としての姿勢を両立し、あるいは平行して存在させることで立体的なダイナミズムを生み出しています。作家がプロ野球選手に対して「ファン」であり、鑑賞者でありながら、絵描きとしては逆に自身をプロ野球選手とともに試合に「参加」させ、自身の作品を鑑賞される対象として新たなファンを生み出していくという構造は、それぞれの立場を入れ替えることでその関係性を提示していくという、ヴィト・アコンチのパフォーマンスを連想させます。

そして1日にして前日の試合を絵画として完成させ、次の試合に備えるという行為は、コンセプチュアル・アートの第一人者である河原温のデイト・ペインティングに想を重ねる趣きもありながら、確実に刻まれていく時の流れのように予定された試合に対応していく姿勢は殺戮なき戦争記録画であり、シーズンを通して刻々と変わるシーズン状況と世相を追体験する装置としての機能を持ち合わせています。

ながさわたかひろによるプロスポーツとアートを融合する試みは、ユニークかつ情熱的な一面を保ちながら、文化の垣根を越境するというアーティストとしての使命と信念に貫かれています。

この機会にぜひ多くの方にご高覧いただけますよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



新・プロ野球画報 No.1

ながさわたかひろ

1972年 山形県生まれ

2000年 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻版画コース修了

2006-08年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科版画専攻非常勤講師

2010年 第13回岡本太郎現代芸術賞特別賞受賞

2013年- 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域非常勤講師

2014年- 武蔵野美術大学造形学部油絵学科版画専攻非常勤講師

最近の主な展覧会

瞬間から永遠まで (eitoeiko) プロ野球カード at ムサビ (武蔵野美術大学) 応援/プロ野球カード (eitoeiko) 2011 / プロ野球めぐりえ 2012 前半戦 (BT Gallery) プロ野球めぐりえ 2012～魔球の伝説～ (eitoeiko) 2012 / プロ野球めぐりえ in 浦添学園通り (沖縄県浦添市) 第1回 PAT in Kyoto 京都版画トリエンナーレ (京都市美術館) 2013 / に・褒められたくて (銀座養清堂画廊) / プロ野球めぐりえ in 浦添学園通り (沖縄県浦添市) 2014

展覧会概要

展覧会タイトル ながさわたかひろ「新・プロ野球画報～ながさわたかひろの逆襲～」

会期 2015年1月9日(金)～1月31日(土)

内覧会 『プロ野球画報 東京ヤクルトスワローズ全試合』(ぴあ株式会社) 刊行記念記者会見

2015年1月9日(金) 受付開始: 13時30分 / 開始: 14時 / 終了: 14時30分頃予定

開廊時間 12:00～19:00 ※会期中19日(月)、26日(月)のみ休廊

会場 eitoeiko

東京都新宿区矢来町 32-2

03-6873-3830

<http://eitoeiko.com>

料金

入場無料

特別協賛



連絡先

ei@eitoeiko.com 担当: 癸生川 (きぶかわ)